

02 特集

ジャズって
こんなに
スゴイ！

06 音楽と生きる

高子 育美さん

特別編

復興への祈り
音楽にのせて

～宮城県東松島市・石巻市へ～



..... やまおり
* のりしろ

組み立てると
ミニ大音カーの
できあがり！

CONTENTS

05 Concert Report
20世紀オペラ・
シリーズ
「ねじの回転」他

10 大音生リアル
寮生活編

11 キラリ★輝く
大音の星
・コンクール受賞
・NEWリリース

12 NEWS Index
・後援会より
「大音カー」寄贈
他

14 CAMPUS
Information

15 演奏会
Information
12月～3月

16 教員リレー
エッセイ
武藤 好男
(作曲・教授)

2012年度、4年制にジャズ専攻が誕生。
豪華指導陣のもとで、じっくりとジャズを学ぶことができるようになります。
今回は赤松二郎教授を司会に迎え、宗清洋客員教授と土岐英史講師
(2012年度より特任教授)にジャズの魅力を語っていただきました。

特集 ジャズってこんなにスゴイ！

大学で ジャズを 学ぶ理由

先輩の演奏をマネする ところから

赤松 先生方がジャズを始められた頃のことを教えてください。

宗清 先輩に生のビッグバンドの音を聴かされたのがきっかけでした。その時の衝撃はすごかったですね。「もうこれしかない！」と興奮してジャズの道に入りました。その当時はまずビッグバンドへ入って楽器運びなどの下積みから始まっているという勉強しました。僕らの頃はジャズをやるうとするとまず親が反対しましたね。「キャバレーでやる音楽やろ」と言っていて全然分かってくれない(笑)。僕は真面目にジャズが好きだっただけです。

土岐 僕は高音付属の音楽高校でクラシックのクラリネットを専攻していました。
赤松 僕がその時大学1年生だったのですが、高校の練習場からジャズが聞こえてくる。「君ジャズ好きなんか？ 教えたるうか」と声をかけたのが土岐先生。

土岐 その頃はコピーをするっていうのも知らなくて、何をコピーしたらいいかわつていいうのも赤松先生に教わりました。ある日、赤松先生の家にいったら本人は留守。家の方に行ったら本人は留守。家の方に「先輩がなんでもレコード貸したるって言ってました」と言っているって上手に上がりこんでチャイリパーカーのレコード借りてきてしまいました(笑)。

赤松 最初はまずマネですね。いろんな先輩が演奏しているのを聴いてマネしていましたね。

土岐 「それ、なんだろう？」と疑問を持つところから始まってマネして練習するんですよ。

宗清 理屈で学んではないから演奏しながら自然に身に付けるしかなかったわけですね。吹いている中で「この音おかしいな」とか「これはかっこいい」み

たいな判断がつくようになって。
土岐 だから曲を習得するのに時間がかかりましたよね。コピー機もない時代だから譜面を手書きで書き写すか、もしくは頭で覚えてしまおうか。
宗清 横で吹いている人の音を一所懸命聴いてね。その場でパッと覚えてメロディを吹くのが精一杯。それを今度は自分がフロントに立つて、責任持って吹かないといけないとなると頭が真っ白になるわけ(笑)。
土岐 今はいいいね。マイナスイオン音源もたくさん出ているし。ただ、今は僕らの頃のように生で演奏できるセッションのような場が少なくなってきた。だからこういう大学で学んで実践の場を増やすことが大切になってくるんですよ。

関西は文化の歴史が しっかりある

赤松 神戸が日本のジャズの発祥地と言われていることもあって、関西でジャズを勉強することには意味があると思っています。土岐先生は現在、東京で活動されていますが、東京と大阪の違いは感じますか？
土岐 関西でコンサートするでしょ。こう言っただけなんです。

音楽はなくては ならない存在

赤松 ジャズの文化を広げていくためにも、これからは大学が発信基地のような役割をすることが大切なのではないかと思っています。
宗清 今、関西の若手で活躍しているジャズミュージ

土岐英史



とき ひでふみ ● 1950年生まれ。中学時代にクラリネットとサクソフォーンを始め、ジャズを試みる。大阪音大付属高校クラリネット科に入学後、16歳でプロデビュー。大阪音楽大学にサクソフォーンで進学。74年に、土岐英史カルテット「渡辺香津美(g)井野信義(b)ステイプ・ジャクソン(ds)」を結成し、アルバム「TOKI」、「LOVERMAN」を発表。映画「ザ・ライダー／よみがえるヒーロー」の音楽を担当する。85年、CHICKEN SHACKを結成し、10枚以上のアルバムをリリース。現、大阪音楽大学講師。2012年度より特任教授に就任。

宗清洋

むねきよ ひろし ● 1936年生まれ。1959年、結成2年目のアロージャズオーケストラ(AJO)のメンバーとして入団。コンサートマスターとしてその重責を果たす。その間、パディ・リッチオーケストラ来日公演、世界的アレンジャー、ギル・エバンスのレコーディングにも参加、大阪音楽大学短期大学部ジャズ・コース講師に就任(2006年退任)。我が国のトップトロンボーンプレイヤーとして活躍する。2008年、AJOの新リーダーに就任。AJOサウンドの継続と発展に力を注いでいる。現、大阪音楽大学客員教授、AJOミュージックスクール講師。

土岐先生の活動情報

●CD



「6/6 SIX SIXTHS」
(シックスシックス)
・株式会社ラグインターナショナルミュージック
・税込3000円

●コンサート

・土岐英史 6/6(SIX SIXTHS)
12月27日(火)19:30～ 場所:和歌山 デサフィナード
・土岐英史 6/6(SIX SIXTHS)
12月28日(水)19:00～ 場所:京都 JTN
・土岐英史 6/6(SIX SIXTHS) カウントダウン
12月31日(土)21:30～ 場所:大阪 ミスターケリーズ

※詳細・その他のライブ情報は下記HPでご確認ください。
土岐英史HP
<http://www.cd-v.net/toki/>

宗清先生の活動情報

●CD



「Color of the Moment」
北野タダオ &
アロージャズオーケストラ
・サウンド・ニュー
・税込3000円

※全国CDショップ各店にて販売中。また06-6364-7850(読売情報開発大阪)へ電話すると代金引換(送料無料で)送ってもらえます。



「J.J-Standard」
「J.J-Standard II」
アロージャズオーケストラ
・日本コロムビア株式会社
・各税込2700円

●コンサート

・アロージャズオーケストラVS東京キューバンボーイズ
12月25日(日)16:00～
場所:兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
・アロージャズオーケストラ第94回定期演奏会
2012年1月27日(金)19:00～
場所:大阪 サンケイホールブリーゼ
※詳細・その他のライブ情報は下記HPでご確認ください。
アロージャズオーケストラHP
<http://www.arrow-jazz.co.jp/ajo/>

「ねじの回転」

Concert Report

注目の演奏会や公演の様子を紹介します。

学生によるレポート

リアルな演技に 圧倒されました！

林 佑子さん(院1・声楽)

初めて見るホラーオペラ。プロローグが作り出す雰囲気はまるで映画の世界のようで、私は一気に引き込まれました。遺児2人の澄みきった歌声と無邪気さに、利発で純粋な子どもそのものを感じさせられます。子どもたちを誘い込もうとささやく幽霊2人の甘い声は、人間的ではなく、まさに不気味な緊張感が漂っていました。ベテラン勢の女家庭教師とグロース夫人の迫力ある歌声とリアルな演技からは終始目が離せず、その魅力に圧倒されました。

現代音楽には、何かとつぎにくという先入観がありましたが、美しく幻想的な音楽とこの世とあの世が交錯したようなドキドキさせられる演出に、私の高揚感は止まりませんでした。いつかあのような舞台上で魅力的に歌って演じられるようになりたい！ 私にとって舞台への憧れがより強まった公演でした。



20世紀を代表する作曲家、B・ブリテンのホラーオペラ「ねじの回転」の公演が10月14日(金)、16日(日)にザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。生きている人間の躍動感と幽霊の不気味な存在感が、演出・キャスト、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団により見事に表現され、会場中が「ねじの回転」の世界に引き込まれました。

現実と幻想の境界を舞台で表現
鳴りやまぬ拍手とともに幕



11月18日(金) ザ・カレッジ・オペラハウス 第23回 ザ・コンチェルト・コンサート

4人の選抜学生による協奏曲演奏会です。



11月21日(月) ミレニアムホール 第22回 ザ・カレッジ・コンサート

4人の選抜学生によるジョイント・リサイタルです。



11月2日(水) ザ・カレッジ・オペラハウス 大学院定期演奏会2011

大学院生による演奏会。岡原慎也教授、田中勉教授も出演されました。前半はソロとピアノ五重奏、後半は2台のピアノの伴奏によるオペラのアリアが披露されました。



10月26日(水) ザ・カレッジ・オペラハウス 第8回 ザ・ローレル・コンサート

2010年度音楽学部最優秀賞受賞者4人による演奏会です。



2012年度 大阪音楽大学(4年制)に ジャズ専攻誕生！

赤松 二郎(ジャズ専攻・主任)

短期大学部にジャズ・コースができてから来年でちょうど20年。実は日本の大学の中で、ジャズ教育のキャリアが一番長いのが大阪音楽大学です。ジャズの基本を学べることはもちろんのこと、大学で4年間学ぶことによって、質の高い音楽や技術を学ぶことができます。卒業後は即戦力としてコンサート活動を始めることもできるでしょう。宗清先生や土岐先生をはじめ、日本トップクラスの指導陣から学ぶことができるのが特長。また関西唯一の音楽の単科大学である大阪音楽大学では、ジャズ以外にもクラシックやポピュラー、邦楽などの専攻もあるので、他ジャンルの学生同士の交流ができるなど影響を受けられることも特長のひとつ。意欲さえあれば幅広く、また奥深く学ぶチャンスがいくらでもあるのが最大の魅力です。

ジャズの生演奏を 聴きに行こう！

現在、短期大学部のジャズ・コースで学んでいる在学生によるコンサートです。1年間の集大成を披露します。



▲2010年度「ジャズコース・コンサート」の様様

●日時 2月15日(水) 18:30開演
●場所 ミレニアムホール(学内)
●入場料金 1000円(全自由席)
※お問い合わせは大阪音楽大学コンサート・センター
(TEL:06-6334-2242)まで。

大学で
ジャズを
学ぶ理由

赤松 近頃は世の中の経済状況が落ち込んでいるけれど、そんな中だからこそ僕は音楽というものの可能性をより強力に感じているんですよ。
宗清 楽器があったからこそ、こうやってたくさんの人と知り合うことができたし、いろいろな場所で演奏させてもらうことができた。
土岐 音楽がなかったら僕



なんか普通のオジさん以下かな？(笑)
宗清 音楽はなくてはならない存在ですね。僕の人生のあらゆるところでプラスになっている。
赤松 こんな時代だからこそ音楽と一緒に生きていく。そういう人が増えていくような気がするんですよ。
土岐 ジャズは健全な音楽ですからね(笑)。そうやってジャズの勉強をしたいと目指して入学してくる学生を受け入れることができる度量のある大学でいることが理想ですね。

特集 ジャズってこんなにスゴイ！

音楽と生きる

Special Edition

大音卒業生が語る
“音楽と生きる”人生

人間性豊かな大音の先生方

父が中学校の体育の教師をしていたので、その姿を見て、私も学校の先生になりたいと考えていました。生徒との関わりによって毎日の仕事内容に変化がある教師は、私の目には

とても魅力的な職業に映りました。中学生の頃には音楽の道に進むことを決め、音楽科がある宮城の高校へ進学しました。大音の受験を決めたきっかけは、その音楽科で師事していた先生に大音の先生を紹介していただいたことです。

祖父が若い頃に大阪に住んでいたこともあって、大阪に対する憧れの気持ちもありました。大阪で学生生活を送ることに抵抗はなく、むしろとても楽しみでした。

大学へ進学し、同時に寮生活が始まりました。知り合いもなく友達もいない土地で心細かった私にとって、寮での生活はとても心強いものでした。友達もたくさんでき、寮の職員の方がいろいろなことを教えてくださったので、本当に楽しい学生生活のスタートを切ることができました。

大音では専攻のピアノ以外にフルートやヴァイオリンのレッスンも受けました。いろいろな楽器に触れる機会があることは、大変ありがたかったですね。ピアノを弾くことにしても、ただ楽譜をそのまま弾けばいいのではなく、楽譜に何が書いてあるかを勉強する術を習うことがで



夢の実現のために 仕事を選んでもいい 経験は必ず糧になります

きました。それからは楽譜を読むことが楽しくなり、演奏にも幅が出てきたのではないかと思います。

大音には人間性豊かな先生がたくさんいます。授業以外でも質問しやすい雰囲気ですし、よくお話させていただきました。魅力的な先生に出会うことで、自分がなりたいた教師像を学ぶこともできましたし、教員採用試験の結果報告をさせていただいたり、卒業後にご指導いただいたり先生もいます。

仕事の経験で自分に 自信ができました

卒業後すぐには教員採用試験に受かることができませんでした。そこで、勉強を続けながら民間の企業に入社しました。最初に入ったのは家庭教師の派遣会社。その後、通信制高校の技能連携施設で教務として今年3月まで教壇に立たせていただいていた。特に後者は企業であり、教

育施設でもあるという職場で、企業も教育現場も経験できたおかげで、自分に自信ができました。

一度は現状に満足し、教員採用試験を受けることをやめました。でも自分の目標はあくまでも公立中学校の教員になることでした。だから、教員採用試験に合格しようと、昨年働きながら試験勉強を再開しました。自分との約束ことは「仕事のクオリティは落とさないこと」。仕事から帰ってから勉強の時間です。帰宅はだいたい夜9時くらい、それから夕食をとったりして11時頃。それから夜中2時頃までが勉強時間。朝は6時起床です。目標達成のためにはこれくらいは最低限必要だと思っていました。

念願の教員採用試験合格

今年4月より常勤講師として宮城県本吉響高等学校に勤務しています。被災した気仙沼にあるこの学校に、

もとよしひびき
宮城県本吉響高等学校講師

高子美育

東日本大震災後に赴任することになりました。まだまだ震災の影響は色濃く、さまざまな問題が残っています。授業は、音楽とキャリア教育科目である「産業社会と人間」を含め、全部で19時間受け持っています。そのほか副担任と吹奏楽部、合唱部顧問を受け持ち、生徒指導部に所属しています。

今年、念願の大阪市の教員採用試験に合格することができ、来年度から大阪で勤務する予定です。今の勤務校を3月で去らなければいけないのはとても心苦しいのですが、大阪から微力ながらもできることをしていきます。もし私が学生の皆さんにアドバイスできることがあるとしたら、やりたいことが仕事に直接結びつかなかったとしても、音楽など好きなことを頑張るため、やりたいことを実現するために仕事をしていいのではないのでしょうか。その経験は必ず自分の糧になります。もしやってみてダメでも、そこで立ち止まるのではなく、よく考えた上で自分に合う仕事を探すなど、やりたいことの実現に近づいていくことも手段の一つではないかなと思います。そして、現状に満足していなくても後ろ向きに考えず、大音での学生生活を糧とし、豊かな心を持って、夢ややりたいことを実現してほしいです。

高子さんの講演会が行われました

95kmの壁の向こうで

～学校現場から見た被災地気仙沼の現状と課題～

●10月30日(日)ばうぜ

大学祭の中で行われた講演会。被災を経験された高子さんは一人の教師として、東日本大震災という未曾有の状況を克明にリポートされました。現在も被災地である気仙沼の高校で日々復興のための活動を行いながら教師として勤務されています。



●たかこ いくみ

2005年3月大阪音楽大学短期大学部ピアノ・コース卒業。編入後2007年3月大阪音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。卒業後、屋久島おおぞら高等学校の技能連携施設、仙台校、郡山校で教務として勤務するほか、教材作成プロジェクトに参加。2011年4月より現職。



とる 楽き 音生

特 別 編

3月11日に発生した東日本大震災から8ヶ月。本学でも震災直後から学内外での募金活動などの支援活動を行っていましたが、「音楽の力で何かできないだろうか」「そんな思いが形となって、ついに被災地での「音楽による復興支援活動」に乗り出すことができました。

音楽を通して被災地のためにできること

11月8日・9日の二日間、クラリネット専攻生22名、声楽専攻生6名が未曾有の大震災により被害に遭った宮城県東松島市、石巻市の小中学校を訪れ、音楽鑑賞会や吹奏楽部への指導などを行いました。この活動は、被害に遭った子どもたちの心を支えられるのは「音楽の力だ」という強い思いから実現しました。被災地では、津波の被害で現在は校舎が使えない小・中学校を視察。津波の恐ろしさを物語るような悲惨な状況を目の当たりにし、多くの学生が言葉もなくその傷跡を見つめていました。学生は分刻みのスケジュールの中、2日間で8回の音楽鑑賞会やクラブ活動支援を精

力的に行いました。小・中学校では、スウィング・ジャズの名曲に加え、各学校の校歌や合唱曲、和泉耕二教授（ソルフェージュ）が3月11日の震災後に作曲した歌曲「石巻・わがふる里」を披露。石巻グランドホテルでのロビーコンサートには、60人を越える地元の方が集まり、多くの方に音楽を届けることができました。音楽があつたからこそ、復興への思いを伝えることができた今回の支援活動。これはあくまでも「はじまり」に過ぎません。長期的な支援があつてこそ「音楽による心の復興支援」は大きな意味を持ちます。本学では今後もできる限りの支援を継続していきます。

宮城県東松島市・石巻市へ

復興への祈り 音楽にのせて

スケジュール

- 11月7日 ●大阪音楽大学を出発(17:00)
- 11月8日 ●宮城県東松島市に到着
- 被災地視察(鳴瀬第二中学校)
- 鳴瀬第一中学校にて音楽鑑賞会を開催
- 小野小学校1年生を対象にした音楽鑑賞会を開催
- 石巻市へ移動
- 蛇田中学校にて音楽鑑賞会開催、プラスバンドクラブ活動支援実施
- 石巻グランドホテルにてロビーコンサート
- 11月9日 ●貞山小学校にて6年生対象の音楽鑑賞会を開催
- 山下中学校にて1年生対象の音楽鑑賞会を開催
- 被災地視察(石巻市立門脇小学校)
- 門脇中学校にて門脇小学校4年生を対象にした音楽鑑賞会を開催
- 門脇中学校プラスバンドクラブ活動支援実施
- 石巻市を出発
- 11月10日 ●大阪音楽大学に到着・解散(9:00)



- 職員室だった場所
- 自動車が津波で校舎に打ち寄せられ、その衝撃で火災が起った門脇小学校。外壁が黒くなっている
- 演奏する表情は真剣そのもの
- 献花台に手を合わせる学生たち
- ホテルでのロビーコンサート。お客さまと「石巻・わがふる里」を合唱
- 一緒に歌ってすっかり打ち解けた様子
- 参加した28人の学生たち
- 蛇田中学校・門脇中学校では吹奏楽部の演奏指導も



鳴瀬第一中学校の体育館で、被災地へ一回目となる音楽鑑賞会。現在、鳴瀬第二中学校の生徒も同じ校舎で勉強している



津波の被害が大きかった石巻市門脇地区。看板の手前には「復興するぞ!」の文字も

被災地からのメッセージ

活動後、訪問した小・中学校の皆さん、ロビーコンサートに来てくださった方々から多くのメッセージをいただきました。その一部をご紹介します。

石巻グランドホテルのロビーにて演奏を拝聴いたしました。本田先生の思いやり深いお言葉とともに、懐かしいグレン・ミラーのナンバーが次々と演奏され、知らず知らずのうちに体も心も軽くスイングしている自分に気づきました。家を失った私たち夫婦は毎日を生きることに精いっぱい、音楽の楽しみを忘れていたのかもしれませんが、学生の皆さんの若さが感じられる演奏が新鮮で本当に素晴らしかった。石巻の歌を美しい声で伸びやかに歌ってくださって、とっても嬉しかったです。歌声を聴いているうちに、かつての風光明媚な私たちの街や、津波で流された自分の家が脳裏に蘇り、溢れる涙を抑えることができませんでした。一生懸命、音楽で元気づけてくださって、本当にありがとうございました。

参加者の声②

音楽で心が
つながった瞬間

岡本 真季さん(大2・声楽)



私自身、阪神淡路大震災に遭っているの、何かできることがあればと思い参加しました。一番心に残っているのはホテルのロビーコンサートで「石巻・わがふる里」を聴いて多くの方が涙されていたことです。曲には私たちも見た石巻の風景が描かれています。それが自分の町と重なり涙が溢れましたが、お客さまから逆に励まされ、とにかく一生懸命歌いました。その瞬間、被災地の方と心が共鳴したように感じました。音楽がなければそう感じることではできなかったかもしれません。被災地で自分でもできることがあると気づき、「もっと関わりたい、何かしたい」と感じました。

▶子どもたちと一緒に「石巻・わがふる里」を歌う岡本さん



参加者の声①

子どもたちの笑顔に
励まされ

奥田 和希さん
(コンサートマスター 大4・クラリネット)



自分の目で被災地を見たいという思いからこの活動に参加しました。実際に見た津波の被害に遭った学校は、言葉にすることができないほど壮絶でした。その情景を見て、「子どもたちに何か感じて元気になるてもらえるような演奏をしなければ」という思いをさらに強くして演奏会に臨みました。しかし、子どもたちは思っていたより2倍も3倍も元気で、すごいエネルギーを持っていました。「元気付けたい」と思っていた自分が逆に励まされるほどでした。物資不足が徐々に解消されつつある今、音楽など心に響くものがさらに必要になると思います。必ず今後も大学としてこの活動を続けてほしいです。



◀子どもたちの前で力強い演奏を披露

音楽にしかできないことがある
「石巻・わがふる里」への思い

ソルフェージュ 和泉 耕二教授



震災から一ヶ月の頃、音楽家として何かできることはないかと考えていたとき、同じ石巻市出身の石田邦彦さんから以前預かっていた素晴らしい石巻の詩があることを思い出しました。自分が生まれ育った石巻の風景がもとにもどることを念じながら曲を作りました。この曲を聴いたり歌ったりして、石巻を、東北を思い出していただけたらと思っています。

石巻・わがふる里
作詞 石田 邦彦 作曲 和泉 耕二
風に舞う 桜の花に 一時(ひととき)の心 まどろむ
坂道で ふと振り向けば 町並みも 今は花模様
この町に 生まれて育ち いくつもの 山々を行く
花 満開の花 石巻 日和山 わがふる里
夏の花 水辺で遊び 釣り人も のどかに憩う
空に咲く 大輪の花 胸躍る 夜空の仕掛け
この町に 生まれて育ち 時を経て 豊かに生きる
河 悠久の河 石巻 北上川 わがふる里

▲学生に被災地の状況を熱心に説明する和泉教授

音楽の力を信じ被災地での
支援活動を実現

クラリネット 本田 耕一教授



「ぜひとも被災地で演奏を」。豊中中央ライオンズクラブから活動資金援助の申し出を受け、5月に大学として「復興支援活動」を行うことが正式決定しました。しかし、震災から間もない当時はどの学校も「今は音楽鑑賞どころではない」という混乱状況が続いており、訪問先の決定は難航を極めました。そんな時、石巻市ご出身で親族の方々も被災された和泉耕二先生が、この支援活動の必要性に強く共感されていた森俊英氏(前・蛇田中学校校長、ご自身も被災された)とともに、訪問校との橋渡しをしてくださったことで実現しました。特に小野小学校をはじめ、小学生の子どもたちの明るさと、天使のような歌声に強く心を打たれました。石巻グランドホテルでのロビーコンサートでは、石巻の方々や強い心のふれあいができたことを嬉しく思っています。被災地の現状を目にし、子どもたちや市民の方々の歌声を聴き、指揮をしながら何度も涙が込み上げ、堪えるのが精一杯でした。最後に、学生諸君にお別れとお礼を言おうとした時には、恥ずかしながら込み上げるものに負けてしまい、しっかりと言葉をかけることができませんでした。改めて今回の28人の学生諸君に伝えたい。「ありがとう」。

▶楽器を手に笑顔を見せる本田教授



★祝！コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

第13回エウテルペ国際音楽コンクール
ピアノ部門 Gカテゴリー 第2位
5月31日(イタリア コラト)

2年間のハンガリー国立リスト音楽院での留学生生活最後を締めくくるコンクールの幕開けということで、いろいろな想いを持って挑みました。直前はスランプに陥り、苦しみながら臨みましたが、本番で結果を残すことができ良かったと思っています。

2011年度サン・ジェミニ国際ピアノコンクール
カテゴリー H 第2位 6月2日(イタリア サン・ジェミニ)

会場が教会ということで響きのコントロールに苦労しましたが、ファツィオリのとても素晴らしいピアノが入っており、良い経験ができたと思います。またいろいろな国々の参加者との出会いもとても良い刺激になりました。

第14回“長江杯”国際音楽コンクール
管楽器部門 大学の部 第1位、審査員特別賞
8月13日(ピッコロシアター小ホール)

演奏した曲は特に高い音はなく、「歌ってなんぼ!!」という曲でした。ピアノとの絡みが難しい曲でしたが、伴奏者のおかげで本番は練習時よりもはるかに歌いこむことができ、終わった後の充実感や手応えは今まで味わったことのないものでした。

第5回全日本芸術コンクール関東本選
ピアノ部門 大学生・一般の部 第2位(1位なし)
8月19日(府中の森芸術劇場ウィーンホール)

今回演奏した曲は、私自身が初めて取り組んだL.v.ベートーヴェンの後期三大ソナタの一つです。自分にとって「挑戦」した曲だったので、L.v.ベートーヴェンの意志を読み取るのにとても苦労しましたが、今の自分を精一杯表現することができました。

エレクトーン・ジャム2011 三木楽器大会本選
銅賞 8月28日(ビルボードライブ大阪)

演奏の本番はライブ会場だったので、お客さまとの距離が近くて新鮮でした。電子オルガンと管楽器という慣れない編成だったので編曲には苦労しましたが、普段なかなか交流する機会がないメンバーと一緒に参加して結果を残すこともでき、良い経験になりました。

清松 優記子
(07年大卒・ピアノ)和田 翠
(大3・トロンボーン)松浦 愛美
(大3・ピアノ)「麦チョコそらめん」
大井 有理菜(大2・サクソフォーン)
岡山 奏生(大2・フルート)
杉本 佳菜(大2・トランペット)
福岡 悟央(短2・電子オルガン)
宮崎 健太(短2・電子オルガン)第22回堺ピアノコンクール
大学生・一般の部 金賞 9月11日(堺文化会館)

いつも音の響きがホールの後ろの席まで届くようにと願いながら演奏しています。この日弾いたA. スクリャービンのソナタOp.53は曲想がくるくる変わるので、審査員の先生方にもその変化を楽しんでいただけたよう演奏したのが良かったのかもしれない。

第65回全日本学生音楽コンクール 大阪大会
声楽部門 大学の部 10月24日(ザ・フェニックスホール)

第1位

いつも本番前はすごく緊張してしまうのですが、とにかく楽しんで歌おうと思いました。苦手を克服したかったので、普段はあまり選ぶことの少ない軽快な曲をあえて選んでみました。全国大会では周りの雰囲気におされず、自分の良いところを出せるよう臨みたいです。

第2位

この度、第2位を受賞でき嬉しく思います。初めてのコンクールで、独特な緊張感に戸惑いましたが、今まで積み重ねてきたものが僕を支えてくれました。全国大会に向け、いつも通り「昨日よりも良い歌を求め励むこと」を日々積み重ねていきたいと思っています。

第3位

4年生になり、初めてコンクールを受けました。コンクールという目標に向かって悩み、苦しみました。今までにないほど真剣に歌と向き合うことができました。今後も、僕の歌を聴く人全員が良いと認めてくれるような歌手を目指し、歌い続けたいと思っています。

第3回東京国際声楽コンクール
大学生の部 第2位 9月3日(イタリア文化会館)

関西本選から東京本大会まで一週間しかなく、曲が完成したのは本選の前日でした。どう歌うか悩みに悩みましたが、このような結果につながり、悩んだ分だけ報われた気持ちでした。

サッポロ・シティ・ジャズ2011 パークジャズライブコンテスト
優勝 7月18日(札幌市大通公園)

審査員の方から「観客が一番喜んでた」との講評をいただき、自分たちを応援してくれた人に恩返しできたと感じました。出場権を獲得した来年のトロント国際ジャズフェスティバルを機に世界で活躍するミュージシャンへの第一歩を踏み出したいと思っています。

根本 みずき
(大4・ピアノ)野々村 彩乃
(大2・声楽)小林 峻
(院2・声楽)前田 満
(大4・声楽)山本昌トリオ
(Moment Jazz Trio)
山本 昌(中退・サクソフォーン)
竹内正史(09年短卒・ジャズスコ
ス・ピアノ)、泉 正清(ベース)

部屋



個室なので気を遣わないのいいですね。少し狭いですが、ベッドも付いているし、自分好みのインテリアに楽しんでいます。

浴室



バス付とシャワーだけのブースがあり、すべて個室。夜遅くても入ることも、朝入ることもできます。

お掃除当番は
ちょっと大変

食堂



ある日の夕食



ある日の朝食

食事・交流の場だけでなく、時には勉強部屋にもなります。食事時間に間に合わない時は、お弁当を置いておいてくれるので便利！

私のリアル

忙しい毎日を
送りながら、
休日は買い物に

最近では本番が多いので合同練習が立てこんでいて本当に忙しい毎日。アルバイトもなかなかできません。でも休日には梅田へショッピングに行くのが楽しみ。欲しいものがたくさんありすぎていつもお金が足りない(笑)。リードやリガチャーも消耗品なので、なるべく節約に努めています。

玄関内は
こんな感じ

私が暮らしている
豊南寮を
ご紹介！

大音生リアル①

大音生のライフスタイルなどありのままをご紹介します。

寮生活 編

レッスンに授業……と毎日大忙しの大音生の実態をレポートするこの企画。今号は「豊南寮」に暮らす岡田さんに寮の中を案内していただき、その生活ぶりを伺いました。

ナビゲーター
大4・クラリネット
岡田 ありささん

寮に入ってきたきっかけは、下宿よりかなり費用が安いこと。もともと家事はそんなに得意ではなかったのですが、初めて実家を離れることですべてを自分でしなければならぬことには正直不安もありました。でも、寮では食事もあるし、何より先輩や後輩の友人もたくさんいて、また他専攻の人とも親しくなれてと

ても心強いです。新歓や夏祭り、クリスマスパーティーではみんなで盛り上がったりと、寮生同士で自習室を借りて練習もできるので便利です。寮に入っていないと、きつと今とは全然違う自分になっていたかも。4年生なのでもうすぐ寮を出なければなりませんが、私にとっては大満足の学生生活でした。

概要

豊南寮

〒561-0814 豊中市豊南町東1-5-1

TEL.06-6334-0412

●寮から大学まで約1,300m

●利用料：入寮費70,000円

寮費(年額)372,000円(9.9㎡)

342,000円(7.6㎡)

食費(年額)147,000円

Daion Report ~海外見聞録~

学生が見た！聞いた！海外体験をお送りします。

京谷 政樹さん (大4・音楽学)

日本では得られない貴重な体験

僕は、今年度の前期に英国の王立ウェールズ音楽演劇大学・古楽科に交換留学し、チェンバロを専攻しました。留学期間中には、チェンバロのソロとバロック・アンサンブルを軸に、さまざまな音楽経験を積むことができました。特に、同じ古楽器仲間と音楽を作り上げていく、アンサンブルの喜びは忘れ難い経験となりました。また、ソロの演奏者として、あるいはアンサンブルの一員として、いくつかの演奏会に出演する機会にも恵まれました。

ところで、イギリスで驚いたことが1つあります。モダンの（つまり古楽器ではない普通の）楽器の専攻生でも古楽器を勉強する学生もいるということです。しかも、ちょっと副科でやりました、というようなレベルではなく、上手なのです。例えば、ヴァイオリンの学生はバロックヴァイオリンを、トロンボーンの学生はサクバットを演奏していました。この試みは、古楽器の演奏を通して、モダンの楽器だけでは得られない幅広い視野を身につけることを目的としているようでした。

留学生活では、語学や生活環境で非常に苦労することもありました。最初の一步を踏み出すには少し勇気がいるかもしれませんが必ず何ものにも代え難い経験になると思います。

▶ホームステイ先でいただいた最高のおもてなし、イギリス家庭料理



▲チェンバロのアンドリュウ・ウィルソン=ディクソン先生と

ここで買えます！
ヤマハ売店（正門前）にて販売しています。
営業時間
平日10時～17時、土曜日10時～16時
日祝は休業（授業のある祝日は営業します）
年末年始の休み
12/29～1/6



▲ランチトート（イス、ネコ、ニワトリ、ロバの4種類） 各1000円(945円)

▲トートバッグ 1000円(945円)



▲クリアファイル 200円(189円)

▲五線ノート 120円(113円)

▲ポストカード 50円(47円)

▲タンブラー 800円(756円)

※（ ）内は在学生価格。1割引＋消費税になります。

DAIONオリジナルグッズ

いよいよ販売します！

これまでオープンキャンパスなどでノベルティとして配布していた大音のオリジナルグッズを、どなたでも買うことができるようになりました。グリム童話「ブレーメンの音楽隊」をモチーフにしたカワイイ絵柄。通学に使えるトートバッグや楽譜を持ち運ぶのに最適なクリアファイルなど、6アイテムが勢ぞろい。ぜひ手に入れて友達に自慢してしまいましょう！

イベント

学生による手作りのあたたかさ 大学祭開催

10月28日～30日にかけて、大学祭が行われました。中庭とばうぜを中心に、バンド演奏やダンス、講演会などが催されました。おにぎりやうどん、ラーメンなどの模擬店も出店され、近隣からもお客さまが来られました。29日はあいにくの雨でしたが、ザ・カレッジ・オペラハウスでの学祭プラスでは演奏に加えて楽器紹介などもあり、たくさんのお客さまが楽しめました。



▲パンケーキやラーメンなど模擬店が人気



▲大学祭ならではの賑わい

イベント

おめでとうございます フレッシュマン給付奨学金 給付確認書授与式

10月6日（木）、2011年度大阪音楽大学奨学金制度フレッシュマン給付奨学金適用者給付確認書の授与式が行われました。この制度は新入生（1年次）の皆さんの積極的な勉学を応援し、優れた学業成果を賞するものです。

●大学
山本 結花、澤田 奈津季、矢部 嘉信（以上ピアノ）
猪川 綾未（管楽器）
短大
石原 佐起子（ピアノ）、岩崎 由起子（管楽器）、山根 若菜（ポピュラー）、野中 千尋（電子オルガン）
※給付金額等詳細はHPをご覧ください。

ヴァイオリンとサクソフォーンのイラストがインパクト大！ひと目見たら忘れられないボディの公用車が大阪音楽大学後援会より本学に寄贈されました。車種はトヨタ・ハイエース。10月3日の納車日には中庭に展示し、学生の皆さんに披露しました。今後は主に学生の演奏活動時、楽器の運搬などに利用できます。希望者は管理事務部門までお申し込みください。



▶街を走れば間違いない目立ちます！

お知らせ

学生の皆さん！ぜひご利用ください 後援会より「大音カー」寄贈

イベント

子どもたちに音楽の喜びと感動を！ 11月6日（日）豊中子ども音楽フェスティバル

♪豊かな人間性をはぐくむ音楽あふれるまちづくりを掲げること目的に、大阪音楽大学、豊中央ライオンズクラブ、豊中市の三者が協力して実現することとなった「豊中子ども音楽フェスティバル」が11月6日（日）、ザ・カレッジ・オペラハウスにて行われました。豊中市内の小・中・高等学校の子どもたちによる、吹奏楽やサクソフォーンのソロ演奏など、6組による熱気あふれる演奏。特に、箕面自由学園の吹奏楽部とチアリーダー部合同でのステージは、その迫力に満員の客席から大きな拍手が沸きました。最後は出演者全員による合同演奏で「翼をください」が演奏され、大盛況のうちに幕を閉じました。



▶箕面自由学園の見事なチアリーディング

▼大阪音楽大学吹奏楽団は3年生を中心に



お知らせ

2012年度ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団 登録正団員募集

この度ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団では、登録正団員の欠員を補充するためオーディションを行うことになりました。

●日程：2012年3月10日（土）
●応募資格：40歳（2012年4月1日時点）までの本学卒業生（2012年3月卒業見込を含む）
●募集人数：アルト1名、テノール2名
詳細は募集要項をご覧ください。大学HPからダウンロードしていただくか、ザ・カレッジ・オペラハウス1階
お問い合わせ、送り先
ザ・カレッジ・オペラハウス（合唱団員募集係）
〒561-1855
豊中市庄内幸町一丁目18
電話：06-6336-4521
e-mail: chicho@daion.ac.jp
受付時間：平日9時～17時、土曜日9時～15時
※日祝は休業です
http://daion.ac.jp

研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃまします！

今回お訪ねしたのは……
本山 秀毅 教授
（担当科目「合唱」）H号館309号室

古いものが好きで集まった家具やピアノたち

デスクもソファもすべて、自宅が使わなくなったものを運んできました。特にこの古いピアノは「スクエアピアノ」といって1800年代に作られたものです。

実はもともと古いものが好きで、京都の古い町家に住んでいます。家具も古いものを置いていて、この研究室にあるものは、そのうちの100分の1にも満たないかもしれません。自宅のピアノもスクエアピアノで、今もレッスンに使っています。

僕は合唱指導をしています。合唱というものの今の時代の価値観に逆らっているのかもしれませんが。インターネットが普及した現代、顔を合わせなくてもいくらでも連絡できる世の中で、わざわざひとつの場所にみんなが集まって練習する。ああでもないこうでもないと言いながら、1小節ずつ何度も何度も練習を繰り返す。

でも僕は、こうやって集まった仲間のことを意識しながら作り上げていく「合唱」という音楽に可能性を感じていますし、縁あって出会った学生たちが「やって良かった」と思ってくれるといいな、と思いながらいつも指導しています。



▲独特の存在感を放つスクエアピアノ

▶母校の小学校で指導した時の思い出の写真が飾られている

第2回 庄内グルメ探訪 食べたくて庄内

大音生が愛してやまない庄内のおいしいものをご紹介します。おいしい音楽はおいしい食べものから……

スープカレーとワイン「開華」

▶華ランチ 790円
日替わりスープカレー、ブチサラダ、ライス、チャイ
※スープカレー、ブチサラダは日によって内容が変わります



加茂 里織さん
（大4・ピアノ）

ヘルシーかつ満足のボリューム！

庄内では珍しいスープカレー。「おいしいものが食べたい！」というときに友達と来ます。お昼の「華ランチ」はボリューム満点。そしてなんととってもスープカレーがおいしい！野菜たっぷり、ルーの辛さも絶妙なんです。食後にチャイが出るもの嬉しいですね。友達と話をしながら、つつい長居しちゃいます。

大音生限定サービス！

ディナータイムに、学生証を提示して「[Muse]を見た！」と言うとアイスをおまけします！サービス期間は1月31日（火）まで。
※サービスは在学生に限りです。

スープカレーとワイン「開華」

豊中市庄内西町2-21-14
阪急庄内駅西口の三井住友銀行の角を曲がって30m
TEL:06-6332-1649
営業時間：11:30～14:30、17:00～22:30（L.O.）
定休日：日曜日 ※都合により変更あり

演奏会やオペラなど、大音関連の
魅力的なイベントを紹介します。

🎭=出演者 📍=場所 🎫=入場料 🗨=問い合わせ先

大阪音楽大学主催公演

**2011年度 大阪音楽大学短期大学部
電子オルガンコース・コンサート
「フライング・ライブ2012」**
1/22(日)17:00～ 📍OH 🎫1000円

**2011年度 大阪音楽大学短期大学部
ポピュラーコース・コンサート**
1/28(土)18:30～
📍サンケイホールブリーゼ 🎫1000円

**2011年度 大阪音楽大学短期大学部
ジャズコース・コンサート**
2/15(水)18:30～ 📍MH 🎫1000円

**第23回 大阪音楽大学学生オペラ
W.A.モーツァルト「魔笛」**
2/18(土)18:00～、2/19(日)14:00～
指揮:小田野 宏之 演出:中村 敬一
●大阪音楽大学合唱団、大阪音楽大学管弦楽団
📍OH 🎫一般2000円、シルバー・小・中・高校生
1000円(全席指定)
●全2幕:原語(ドイツ語)上演・字幕付

**2011年度大阪音楽大学短期大学部
ミュージカルコース公演**
2/23(木)18:00～19:30～(2回公演)
📍MH 🎫無料(要整理券)

大阪音楽大学短期大学部 第17回吹奏楽演奏会
2/25(土)17:00～
指揮:丸谷 明夫、小野川 昭博、伊勢 敏之 ●大阪音
楽大学短期大学部吹奏楽団 📍OH 🎫1000円

大阪音楽大学 第43回 吹奏楽演奏会 3/4(日)14:00～
指揮:北野 徹、丸谷 明夫 ●大阪音楽大学吹奏楽団
📍ザ・シンフォニーホール 🎫1000円(全席指定)

**大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部
第9回ザ・ストリング・コンサート** 3/8(木)18:00～
指揮:上塚 憲一 ●大阪音楽大学・短期大学部弦楽器
専攻生 📍OH 🎫1000円

大阪音楽大学短期大学部 2011年度 卒業演奏会
2011年度成績優秀者による演奏会
第一夜 3/14(水)18:00～
第二夜 3/15(木)18:00～
📍OH 🎫無料(要整理券)

大阪音楽大学 2011年度 卒業演奏会
2011年度成績優秀者による演奏会
第一夜 3/16(金)18:00～
第二夜 3/17(土)18:00～
📍OH 🎫無料(要整理券)

問い合わせ先: 大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

学生自主演奏会

トランペットアンサンブル第13回定期演奏会
12/17(土)18:00～
●大阪音楽大学・短期大学部・専攻科トランペット専攻生
📍OH 🎫500円 📧bach_uk2@ezweb.ne.jp(二宮野 祐希)

Message
35本のトランペットによる演奏会です。トラン
ペットアンサンブルのためのオリジナル作品や
オーケストラの編曲もの、迫力のビッグバンドス
テージなどバラエティ豊富! 楽しんでいただ
けるよう頑張りますので、ぜひお越しください!

第26回サクソフォーンオーケストラ
12/18(日)14:00～
●大阪音楽大学・短期大学部・専攻科サクソフォーン専攻生
📍OH 🎫800円
📧daionsax@gmail.com(山代 涼)

Message
サクソフォーン専攻生約60名による演奏会です。
ソプリロサクセスからコントラバスサクセスまで、
普段なかなか見ることのできない楽器が登場。さ
まざまな時代の曲をご用意しています。ぜひ皆様
お誘い合わせの上ご来場ください。

**第10回オーボエ・ファゴット専攻生による
アンサンブルコンサート** 12/19(月)18:00～
●大阪音楽大学・短期大学部・専攻科オーボエ・ファ
ゴット専攻生 📍MH 🎫無料
📧sa-t4..@ezweb.ne.jp(辻 理美)

演奏会 Information

2011年 2012年
12月 3月

※1:MH=ミレニアムホール※2:OH=ザ・カレッジ・オペラハウス

杉本 明子・原 真奈美デュオリサイタルvol.3
2/12(日)14:00～
📍豊中市立リソナーレホール 🎫2000円(当日2500円)
📧080-3804-4485(デュオベルレ)

**声の迷宮vol.Ⅱ 現代の音楽、声の可能性を探る旅
～ギタリスト・佐藤紀雄氏とともに～**
2/12(日)16:00～
●佐藤 紀雄、小里 明子、南川 弥生、諸橋 玲子
📍南港サンセットホール
●一般3000円、学生1500円 📧06-6844-0320(MUSICA)

ぐるーぷ歌人 早春につづる詩と語り
2/25(土)14:00～
●芝田 眞理、大神田 頼子、小山 ヨリ、宇仁 節 他
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫3000円 📧0798-73-6120(八代 緑)

幸楽会後援演奏会

大阪音楽大学同窓会コンサート
12/29(木)18:30～
●大阪音楽大学同窓生
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫3000円 📧075-255-9520(岡田)

はやし まどか NEW YEAR コンサート
1/7(土)14:30～ 📍高石アプラ小ホール
1/22(日)15:00～
●神戸芸術センター シューマンホール
●2500円(高校生以下500円)
📧080-3104-8615(オフィス・カルミア)

山田聖華ヴァイオリンリサイタル
1/7(土)19:00～
●阿倍野区民センター小ホール
🎫1000円(当日1500円) 📧06-6624-0765

ヴェルディ ガラ コンサート vol.2
1/12(木)18:30～
●太田 裕子、西原 綾子、西田 昭広 他
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫2500円 📧090-1022-6578(西口 浩二)

クラリネットリサイタル Alles Liebe
1/15(日)14:00～
●西山 玲加、村上 優子、北田 絵里、栗川 貴博
●ドルチェ・アーティスト・サロン
🎫1500円 📧06-6377-1117(ドルチェ楽器)

日本テレマン協会新春特別演奏会 ピアノ協奏曲の響き
1/15(日)15:00～
指揮:延原 武春
●テレマン室内オーケストラ、
橋本 里香、鈴木 亜希子、山田 真由美
●いずみホール 🎫4000円(当日4500円・当日座席指定)
📧06-6345-1046(日本テレマン協会)

上野 謙子&藤澤 曜子ジョイントコンサート
1/15(日)16:00～
●ムラマツリサイタルホール 新大阪
🎫2000円(当日2500円) 📧090-6559-3807(上野)

GlücksKlee Joint Concert ～ドイツ音楽とともに～
1/21(土)14:00～
●三好 啓子、植田 祐佳、阪田 みゆき、福田 可織
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫2000円 📧090-3619-1339(石田)

New Year Concert
1/22(日) 星の部13:30～夜の部18:00～
●太田 久美子、松田 ひろ子、中田 丈次 他
●洲本市市民交流センター・ビバホール
🎫1500円 📧090-7342-6348(太田)

木下裕子ソプラノ・リサイタル
2/22(水)19:00～
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫3000円 📧080-5311-9816(響の宴)

トリオ・アンダンテ リサイタル
2/26(日)14:00～
●小川 有紀子、林口 眞也、佐々木 千尋、雪原 典子
●秋篠音楽堂 🎫3000円 📧0742-31-6501(佐々木)

橋本恵史テノールリサイタル～死に取り憑かれた男～
3/10(土)19:00～
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
🎫3000円(学生2500円)
📧080-4481-3170(World Music Project)

キャリア支援センター

**教員免許状に有効期限があることを
ご存知ですか? 教員を目指す方
は免許更新に必要な講習について知って
おきましょう。**

**教員を対象とした
教員免許状更新講習を実施**

本学では6月から9月の4ヶ月にわ
たり教員免許状更新講習を実施し、本
年度は292名が受講しました。2009
年度から導入された教員免許更新制
により、それ以前に免許状を取得した
教員には10年ごとに30時間の講習
を受講・修了することが義務付けられ
ました。音楽科教員を数多く輩出して
いる本学でも「最新の教育事情」「合唱
指導法」などの講習を行いました。

受講生のほとんどが学校で子どもたち
と直接向き合っている現役の教員なので、
その様子は真剣そのもの。「学生時代に教
職課程を受講していたときよりも、現場
を経験している今のほうがはるかに興味深
く聴講することができた」という感想もあ
りました。教員として多忙を極めている
からこそ、大学で音楽を学べる時間がい
かに貴重かを実感されたようです。
(キャリア支援センター 島本 悦子)

本学の更新講習は現職教員の心
情に寄り添い、「リニューアル」と「リフ
レッシュ」をキーワードに満足度の高い
講習を提供することを目指してい
ます。また、受講生同士の交流を深め
るさまざまな企画も用意しており、好
評を博しています。(教職・教授 藤本 敦夫)

※次年度の教員免許
状更新講習の詳細
は、2012年3月に
降に大音HPに掲載
を予定しています。
▶受講生も教員も真
剣そのもの

そうだ! 教職支援室へ行こう
教職支援室は教職課程を履修し
ている学生へのサポートを目的として
います。教職課程を修めた卒業生ス
タッフが在室し、教職に関する相談
受付や、教員採用試験に向けての勉
強会を行っています。教員を目指す方
はぜひ一度お越しください。

教育実習に向けて、
指導案の作成や模擬
授業対策も行います。
みんなで励ましあって
頑張りましょう!

場所: H号館202号室
開室日時: 月・水・木・金曜日 12:30～17:30
ブログを検索!
前略、202号室より。

ひとこと
Muse

ばうぜ2階のベーカリーに焼きたてのパンが並ぶのは朝の11時頃。今回紹介した定番や、季節限定の商品が人気なんだとか。
月替わりの季節商品は要チェック! お目当てのパンが売り切れる前に、ばうぜにダッシュ!

CAMPUS

学 内 の 各 部 門 ・ 施 設 か ら 、 学 生 生 活 に 役 立 つ 情 報 を お 届 け し ま す 。

Information

学生支援センター

大学から大切な情報をお届けする
ポータルシステム。どんどん活用し
て学生生活に役立ててくださいね。

**時間割・教室変更のお知らせは
ポータルシステムで行っています**
時間割や教室変更以外にも、演奏会
や特別講義の公欠情報、気象警報など
による臨時休講のような重要なお知
せをすることもあります。こまめにロ
グインして、情報をチェックしまし
ょう。

お知らせを携帯メールでも受信可!
ご存知でしたか? ポータルシステ
ムに携帯のメールアドレスを登録する
と、パソコンだけでなく携帯メールでも
情報を受信できます。情報の確認がよ
り便利になりますので、ぜひ登録して
ください。

登録方法

①ポータルシステムにログイン

②トップページの上右の「メール設定」タグをクリック

③下段に携帯のメールアドレスを入力し、「確定」ボタンを押すと設定完了

ここにメールアドレスを入力

注意!

・メールアドレスは正確に入力してください。
・メールアドレスを変更した場合は、忘れずに登録変更してください。
・携帯の設定によってはメールを受信できない場合があります。ポータルシステムの送信元unipa@daion.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください。

わからないことがあったら、気軽に学生支援センター窓口にお越しください。

教務 小山 英一

ほっと一息 学生サロン「ばうぜ」

バラエティに富んだパンがズラリと並ぶばうぜの2階のベーカリー。どれにするか迷いながらパンとにらめっこをしたことがある人も多いのでは? 今回はばうぜベーカリーの人気ベスト3をご紹介します!

フェア情報
2012年1月中旬から、毎回大人気のオムライスフェアを開催! 日替わりで5種類の特製オムライスをご提供します。お楽しみに!

連携支援センター

連携支援センターでは、主に社会人に向けての公開講座を開催しています。

**カレッジ・オペラ講座2011
オペラ物知り講座**
1/24(火)18:30～20:30
場所:ミレニアムホール
講師:中村 敬一
メインゲスト:楳木 実(照明家)
ソプラノ:松田 昌恵(声楽・教授)
ピアノ:岡本 佐紀子

毎回異なるオペラスタッフをゲストに迎え、オペラの舞台裏をご案内。演奏と映像でお楽しみいただけます。

第4回「照明デザイナーのお仕事」
光によって舞台をさまざまな空間に変化させる照明デザイナー。照明家の楳木 実氏を迎え、光で舞台を作りあげる技術についてうかがいます。

**ミレニアムホール特別講座「人間と音楽」
第46回「楽しい仲間と愉快な金管五重奏」**
2/4(土)14:00～16:00
場所:ミレニアムホール
講師:日下部 吉彦
演奏:飯塚 一郎(Tp)、竹森 健二(Tp)、東谷 慶太(Hr)、呉 信一(Tb)、潮見 裕章(Tu)
演目:S.シャイト「戦いの組曲」、R.ロジャース「サウンド・オブ・ミュージック メドレー」他

豪華出演者による金管五重奏と日下部 吉彦先生の楽しいレクチャーで、金管アンサンブルの魅力をお伝えします!

お申し込み・お問い合わせ
大阪音楽大学 連携支援センター
06-6334-2249 <http://daion.ac.jp>
※特別講義・公開講座の項目をご覧ください
※受講料は各1000円です

ばうぜベーカリー人気ベスト3

第1位 あげはん(シュガー・きなこ 各105円)
ボリュームとお手ごろ価格で不動の人気! 食パンの生地を使っているの、サクサク、ふんわり。おやつにもオススメです。

第2位 ウィンナーロール(189円)
ボーク100%のウィンナーにパン生地を巻きつけた惣菜パンの定番。パリッとジューシーなウィンナーのうま味がたまらない!

第3位 チキン南蛮パン(147円)
甘酸っぱいタレがかかったチキン南蛮を、白ゴマが入ったパン生地で包んだ一品。やわらかいチキン南蛮とパンの食感が絶妙!

※フェアやメニューは変更になることがあります。

15

14

おなじみ「梅田駅」構内のエスカレーター前に設置されている本学の看板。この度、この看板が新しくなったのをご存知ですか?

実はこのザ・カレッジ・オペラハウスの勇姿、カメラマンの方が夜明け前からスタンバイ。夜明けとともに、朝の光がちょうど美しくなった午前5時頃に撮影したのだとか。道理でさわやかな色合いに仕上がっていますね。ぜひ一度ご覧ください。



エスカレーターに
乗りつつ眺めよう!

それぞれの舞台で 輝く卒業生たち

大阪音楽大学
理事長・学長

中村 孝義



10月に仕事で東京の新国立劇場を訪れたとき、先年大学院を出た二人の卒業生から笑顔であいさつされ、しばし歓談できました。彼らは難関の新国立劇場オペラ研修所に合格し、現在修行に励んでいる人たちです。同じくここで修行した卒業生の中村恵理さん(02年・院卒)は、今やバイエルン国立歌劇場の専属歌手。彼らも数年たてば新国立劇場の舞台で、いや世界の舞台で活躍しているかもしれません。卒業生の活躍を見ることほど、教職員にとって嬉しいことはありません。本当に楽しいひとときでした。

むとう よしお ● 1950年京都生まれ。何やかや作ることが好きで作曲を始める。大阪音楽大学大学院修了。院生のときから中学・高校の非常勤教員をしていましたから、教師歴39年。学生時代、教師にはなりたくないと思っていたのに人生わからないものです。

コンピュータがあつという間に よみがえらせる「記憶の中の歌」

作曲・教授 武藤 好男

教 員
リレー
エッセイ
Vol.2

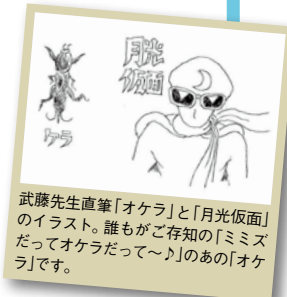
今回は井口淳子先生
(音楽学・教授)です。
海外での貴重な体験談を
楽しみにしています!



もう一つ、「月光仮面」は知っていますか。僕が小学校の頃夢中になったテレビのヒーロー物なのですが、2年ほど前、読んでいた本の中に「第一部」どころは仮面、篇のほとんどは夕方6時から10分間の番組組として放送されていた」という記述を見つけて、ショックを受けました。知らなかつた! 月光仮面のことは何だっけと知っているつもり的小学生が、50年たつて、日曜夜7時の30分放送が開始される前に、毎日番組組で放送していたことを知るなんて……。これについてもネット検索しましたが、

詳細不明。そんな折、放送五十周年というところなのか、DVDが出ました。思わず買ってしまったんですが、実はまだ見ていません。思い出が壊れてしまうのが確実なような気がしたからです(月光仮面については、十三の武田薬品工場から始まってネタはいくらでもありますが、それはまた別の話。)

コンピュータは確実に世界を変えました。でも、何かむなし。「補助足袋の歌」をも一度聴くことになるなんて思ってもありませんでしたし、月光仮面のおじさんにも再会できるなんて思ってもみなかったのが、たまたまりリース情報を見ていて巡り会えた。こちらは偶然ということですが、感動しました。あなたが、怖くて見ることができない。これって何なのだろう? 若い皆さんにとっては年寄りのタワゴトでしょうが、あなたも人間とコンピュータのかかわり方、得たものと失ったものについて一度考えてみませんか。



武藤先生直筆「Okera」と「月光仮面」のイラスト。誰もがご存知の「ミミズ」だってOkeraだって〜!」のあの「Okera」です。

編集後記

次号は3月15日発行予定です

今 号の表紙はなんとペーパークラフト! ステキな大音カーを作って飾って楽しんでもらいたいです。そして今号もたくさんの方の学生皆さんに協力していただきました。学生時代の思い出の一つに、ぜひこれからもMuseの表紙出演、ご協力をお願いします。(は)

人 知ではどうにもできないこと。それを受け止めて立ち向かう被災地の方の姿に胸を打たれました。取材では「忘れられるのが一番つらい」と多くの方に言われました。見聞きしたことを忘れず、伝えていくことが被災地を訪れた者の使命だと感じています。(さ)

学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」

vol.220 2011年12月15日発行

●発行:学校法人 大阪音楽大学

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL:06-6334-2131 FAX:06-6334-2141

http://daion.ac.jp

●制作・編集:広報誌編集室 muse@daion.ac.jp

●デザイン協力:(株)産業編集センター